北海道スキー連盟主催の

平成 23 年度　加盟団体会長･理事長懇談会から

過日、6 月 18 日(土)札幌において㈱北海道スキー連盟主催による「平成 23 年度加盟団体会長・理事長懇談会」が開催され、全道から各加盟団体の会長・副会長・理事長などが参集され懇談が行われた。

最初に、伊藤会長からの開会挨拶では、本日の会議の場は道連に対し、ご要望等があればこの場で意見を頂きたい。また、二年後の冬季オリンピックはロシア連邦のソチで開催されるが、2018 年の開催地の決定は、来月の初めに開催するＩＯＣ会議で決定する。なお、現在、韓国、ドイツのミュンヘン、フランスのアルベールビルの３つの立候補地が挙がっているとのこと。

なお、懇談会の中では、地域の話題提供として、稚内スキー連盟と函館スキー連盟から連盟の概要、現状と課題などの説明があった。特に、稚内スキー連盟からは、地理的特異性を活かしたサハリン州とのスキー交流についての報告と州都ユジノサハリンスク市内にある山の空気スキー場の動画映像を大型スクリーンで映し出しながら現状説明が行われた。

映し出されたサハリンのスキー場の映像に対し、道連役員の皆様をはじめ各加盟団体からの参加者は、北海道の隣国に近代的なスキー場があることに驚きを隠せない様であった。（ビックリ！！）